

平成 22 年 12 月 12 日
組織行動分科会 加藤

組織行動分科会議事録

日時：平成 22 年 12 月 12 日（日）14:00 ～ 17:00

場所：テクノ菱和港営業所

参加者（五十音順）：宇於崎 裕美、大橋 光三、加藤 豊、川路 明人、酒井 雄二、
田辺 和光、中村 弘、茂木 真

要旨：本日は、次の内容について議論を行った。

議題

- 1、春季江戸川大学公開講座について
- 2、失敗学会年次大会に向けての組織行動分科会の振り返り
- 3、今までの講座の資料のまとめ
- 4、ホームページのアップデート
- 5、その他

「検討内容」

- 1、春季江戸川大学公開講座「事例で学ぶ失敗学」について

- ・概要、日程は 11 月と変更なし
- ・3 月 22 日ご担当の川路氏から「セラチア菌院内感染事故の必然」の内容説明
- ・次回の 1 月 30 日に茂木氏、加藤氏の演題説明を行う

- 2、失敗学会年次大会発表内容の組織行動分科会の振り返り

12 月 11 日開催された失敗学会年次大会の組織行動分科会としての研究発表に関して下記の意見が出された。

- 1) 資料の概要説明だけで充分内容が伝わる内容であった
- 2) 結論を話してから、内容を説明も良かったのでは
- 3) 配布資料があるので、講演の話と、資料の中身の話は別にした方が説明しやすい
- 4) 発表の時間配分の再確認

- ・大会全体の発表を振り返って

* 大会の内容に関して、危険に関する考え方、行き過ぎた危険防止策は、危険への感度レベルを鈍くする。

* 今の子は危険感度レベルが鈍くなってきている、すり傷が少なく、いきなり骨折になってしまう事がある。

- * 安全基準を他の者に求めている世界になってきている。
- * 自分の五感による、評価がなくなってきている。
- * 危ないところから隔離されて、危険レベルがわからなくなってきている。
- * 危険を排除すること、危険を気付かせることは、CRM の観点につながる。
- * 危険に対する免疫が無くなってきている。

3、今までの講座の資料のまとめ

4、ホームページのアップデート

5、その他

次回 2011 年 1 月 30 日

石橋氏、茂木氏、牧野氏、加藤氏の江戸川大学公開講座講演確認

6、・ 図書紹介定例会後に酒井さんから頂いた情報です。

① マネジメント信仰が会社を滅ぼす(新潮新書)

深田和範(著) 714円

内容

マネジメントが下手だから会社が傾くのではない。マネジメントなんかに頼ろうとするから会社が傾くのである。本業で稼げない時に人事制度や情報システムを精緻化させて何の意味があるのか。どんなに見栄えのよい事業計画を作っても、経営者に「意志」がなければ机上の空論である。日本企業は今こそ、「マネジメント信仰」をすてて、愚直に「ビジネス」と向き合うべきなのだ。組織人に覚悟を促す警世の書。

・ 著者略歴

1962(昭和 37)年生まれ。一橋大学社会学部卒。シンクタンク研究員、東証一部上場企業の人事部長、大手コンサルティング会社の経営コンサルタントを経て、2010年に独立

・ 今後の分科会日程

テクノ菱和港営業所にて

2011 年 1 月 30 日(日) 14:00

2 月 27 日(日) 14:00 → 20 日(日)に変更

3 月 26 日(土) 14:00

以上